

授業科目名	特別支援教育入門	大学名	作新学院大学短期大学部
科目区分	VU連携講座	開講時期	後期（4月8日～7月29日）
学部・学科等	幼児教育科	曜日	未定
必修・選択区分	必修	時限（時間）	未定
標準対象年次	1学年以上	授業形態	講義
単位数	1単位	授業会場	作新学院大学 講義室
担当教員名	未定		
電話番号 （代表者名）	028-667-7111（大代表）		yoshinori@sakushin-u.ac.jp
オフィスアワー	特に設けず、e-mailや電話で予約を取ってから、質問や相談に応じる。		

授業の概要

<授業の目標及びねらい>
 現在、「インクルーシブ保育」という障害児と健常児が共に生活する保育が主流となりつつある。そこで、保育者には障害の知識や障害児に対する関わり方を学ぶ必要がある。そこで、本科目では、障害の概念から障害種別の理解と支援方法、さらには職員間連携・地域連携・小学校との連携と幅広い知識とかかわり方を習得する。

<前提とする知識・経験>
 特になし。

<授業内容と具体的な進め方>
 ① プレゼンテーションの方法：授業では、板書とICTを活用する。
 ② 授業形態：講義形式、グループワーク、実習、実技、実験、学外実習、少人数ゼミ、輪読など 1～3回目は講義形式で行い、4回目以降はグループ発表を中心に進め、発表後補足説明を行う。
 ③ アクティブラーニングの有無
 ・学生によるプレゼンテーション…担当章をまとめてグループ発表を行う。
 ・小テスト…毎回、前回の4問と今回の1問を出題する。
 ④ 課題に対するフィードバックの方法
 採点した小テストを集計後、学期末テスト前に返却する。
 本授業では、「理解し・要約し・発表する」ことを通して、障害児への支援を主体的に考えてもらいます。
 したがって、単に講義を聞いていけばよいのではなく、自ら積極的に学び、参加する姿勢が求められます。
 基本的な各回の流れとしては、「復習テスト」→「発表」→「まとめ」という順序で進めていきます。<授業計画>
 第1回：オリエンテーション（授業の進め方）
 第2回：特別支援教育・障害児保育の概論
 第3回：特別支援教育・障害児保育の基本
 第4回：障害の種別と援助の技術や方法
 第5回：知的障害の特徴と教育・保育での支援
 第6回：保育実習Ⅰ（施設）・保育実習Ⅲにおける実習種別についての説明
 第7回：自閉症スペクトラム障害の特徴と教育・保育での支援
 第8回：注意欠如・多動性障害の特徴と教育・保育での支援
 第9回：限局性学習障害の特徴と教育・保育での支援
 第10回：言語障害の特徴と教育・保育での支援
 第11回：支援計画の作成と記録及び評価
 第12回：困難な状況をかかえる家族とその支援
 第13回：障害児、その他の特別な配慮を必要とする子どもの課題
 第14回：地域の専門機関や関係機関との連携
 第15回：多様な支援を必要とする乳幼児、児童及び生徒の把握や支援 まとめ
 定期試験

<教科書・参考書・教材と入手方法>
 咲間まり子（編著）「特別支援教育・障害児保育入門」建帛社 野呂文行・高橋雅恵（監修）「保育者ができる気になる行動を示す幼児への支援」学苑社

<成績評価法>
 授業での課題への取り組み姿勢や発表、期末試験の成績等によって評価します。

<教員からのメッセージ>
 本授業では、「理解し・要約し・発表する」ことを通して、障害児への支援を主体的に考えてもらいます。したがって、単に講義を聞いていけばよいのではなく、自ら積極的に学び、参加する姿勢が求められます。基本的な各回の流れとしては、「復習テスト」→「発表」→「まとめ」という順序で進めていきます。

